

# 目次

●	この本を読むみなさんへ	2
●	この本を読むにあたって	3
●	目次	4
一	大きな理想をもち 北海道開拓に情熱をかたむけた	6
二	思いこんだらまっしぐら 世界をみつめた 日本赤十字の父	10
三	一生 学び続け 近代書道の基礎をきずいた	14
四	常に時代の先を読み 新しい日本の土台をきずいた	18
五	洋画の先駆者 国際人として活やくした	22
六	「寒鶯春を待つ」 地下の宝庫に夢をかけた 炭鉱王	26
七	日本の玄関口「東京駅」をつくった 英語が好きな少年 建築家	30
八	でっかい夢で 百年後を予見した まんじゅう屋の少年 科学者	34
九	アメリカで製菓技術を勉強し 西洋菓子を日本にもたらした	38



●	十	仏の教えを守り めぐまれない人を 支えてきた福祉の人	小佐々祖伝尼	42
●	十一	努力と創意工夫の人 栄養菓子を作り出した	江崎利一	46
●	十二	短歌を愛し そして 学問に一生をささげた	高田保馬	50
●	十三	紅もつけずに 紅の研究に打ちこんだ 日本初の女性化学者	黒田チカ	54
●	十四	次郎はわたし自身 そして だれだって みんな次郎 『次郎物語』の作者	下村湖人	58
●	十五	清く正しく生き 青年教育運動に 一生をささげた郷土の光	田澤義鋪	62
●	十六	五十歳からの出発 佐賀の お母さんと呼ばれた 楠の木おばさん	福田よし	66
●	十七	日本の空に翼をよみがえらせ 民間航空を世界的に成長させた	松尾静磨	70
●	十八	読書と車が大好き 横綱大鵬を育てた けいこの虫 名大関	佐賀ノ花	74
●	十九	参考にした本		78
●	二十	先覚者の生きた時代の年表と日本・郷土のできごと		80
●	二十一	むずかしい言葉の説明		82
●	二十二	おわりに		86
●	二十三	「郷土の先覚者」編集執筆委員等一覧		87

